

実施年度	: 2019 (2020 入試) 年度
試験日	: 2019 年 11 月 24 日
入試種別	: 3 年次編転入学試験問題
学部・研究科	: 文学部 歴史学科 東洋史学専攻
科目名	: 専門科目

【解答又は解答例】

1

当該問題は、受験生の漢文読解能力を問うものである。採点は漢文を正しく読解し理解していることがわかることを踏まえて総合的に評価する。以下に掲げるのは、読み下し文ならびに現代語訳の解答例である。

①

㊦ 大將軍衛青は、平陽の人なり。

㊧ 大將軍の衛青は、平陽出身の人である。

②

㊦ 漢書に云わく「其の父鄭季は、河東平陽の人にして、県吏を以て平陽侯の家に給事す」なり。

㊧ 『漢書』には「衛青の父の鄭季は、河東の平陽出身の人であり、県吏として平陽

侯の家に仕えていた」とある。

③

㊦ 最ぶるに、大將軍青は、凡七たび出て匈奴を撃ち、斬捕の首虜五万余級なり。一たび单于と戦い、河南の地を収め、遂に朔方郡を置き、再び益し封ぜられ、凡そ万一千八百戸。

㊧ 総計すると、大將軍衛青は、合計七度砦を出て匈奴を撃ち、斬首・捕虜の数は五万余人であった。一度は单于と戦い、河南の地を収めて、その地に朔方郡を置いた。再びの加封で、総計一万一千八百戸を得た。

④

㊦ 凡そ計るを謂う。

㊧ 総計するという意味である。

2

当該問題は、受験生の東洋史学における基礎的な知識を問うものである。採点は、課

題に関する十分な知識を有することと、論理的かつ簡潔な説明をおこなっているこ

と、この2点を踏まえて総合的に評価する。解答は一義的ではなく、以下に掲げるのは解答例である。

- ① 『史記』の作者は司馬遷であり、前漢時代の人物である。若い頃から各地を旅して見聞を広めた。武帝から太史令を命ぜられ、『史記』編纂に携わった。匈奴との戦いにおいて敵方に投降した李陵を弁護して、宮刑に処せられるも、屈辱に耐えて『史記』を完成させた。
  
- ② 東の長安から西のローマに至るまでのユーラシア東西を結ぶ交易路のことであり、地理学者リヒトホーフエンにより命名された。元々は中国の絹製品がローマに至るまでのメインルートであった、トルキスタンのオアシス都市を結ぶオアシスの道のことを指したが、のちに北方の草原を通るルートや海の交易路をも含む、東西交易路一般をも意味するようになった。
  
- ③ チベット高原を史上初めて統一した軍事国家であり、唐や突厥、ウイグル、アッバース朝などと覇権を争った。特に唐とは長年にわたり戦争と和平を繰り返した。建

国の祖はソンツェン・ガムボであり、その時代に唐からは文成公主が輿入れしたことで有名である。また、8世紀中頃には仏教を国教化し、後にチベット仏教文化圏が築かれる礎となった。